



# 水文化

## 八戸ダムの概要

八戸川は、島根県西部の中国山脈に源を発する流路延長33km、流域面積303km<sup>2</sup>の河川で北流して江の川に合流し、日本海へ注いでおります。

八戸川は、台風や梅雨前線豪雨により、過去、幾度も被災し、昭和32年に中流部に砂防ダムを建設し、下流部は災害復旧工事を行いました。

その後、昭和33年7月、昭和40年7月に再度被災し、抜本的な治水対策が必要となりました。一方、江の川河口より約8kmの地点まで塩水が遡上しており、濁水になるとさらに上流に遡上し、既得用水の取水が不可能となります。

また江の川河口部を含む石見臨海地区は県が重点的に工業開発を推進する地区としたことから、工業用水と水道用水を供給することが必要となり、あわせて、工業開発を促進する上からも電力供給力を強化する必要があります。

このように治水はもとより利水においても早急な対策が必要となり、八戸ダムは、八戸川総合開発事業の一環として、江の川水系八戸川の中流部の島根県江津市桜江町に多目的ダムとして建設され、昭和46年度に着工し、昭和51年度に完成しました。

## 八戸ダムの目的

### 1. 洪水調節

ダム地点で1/80の確率で起きる洪水量毎秒1,190m<sup>3</sup>のうち毎秒860m<sup>3</sup>を調節します。

### 4. 工業用水の供給

江津地域の工業開発のため日量203,000m<sup>3</sup>の工業用水を確保します。

### 2. 流水の正常な機能の維持

江の川では河口より約8kmの赤栗地点まで塩水が遡上しており、濁水になるとさらに上流に遡上するため、ダムより一定量を放流し、塩害を防止します。

### 5. 発電

八戸川第一発電所(6,300kW)、八戸川第二発電所(2,500kW)および八戸川第三発電所(240kW)で発電をしています。

### 3. 水道用水の供給

江津市および大田市の2市に日量27,000m<sup>3</sup>の水道用水を供給します。

### 6. 河川維持流量

ダム地点から八戸川第一発電所放水口までの間の減水区間解消のため、八戸川第三発電所(発電所停止時は維持放流管)から毎秒0.6m<sup>3</sup>をダム下流に放流しています。

## ◎発電



八戸川第一発電所



八戸川第二発電所



八戸川第三発電所

## ◎水道用水・工業用水



取水場

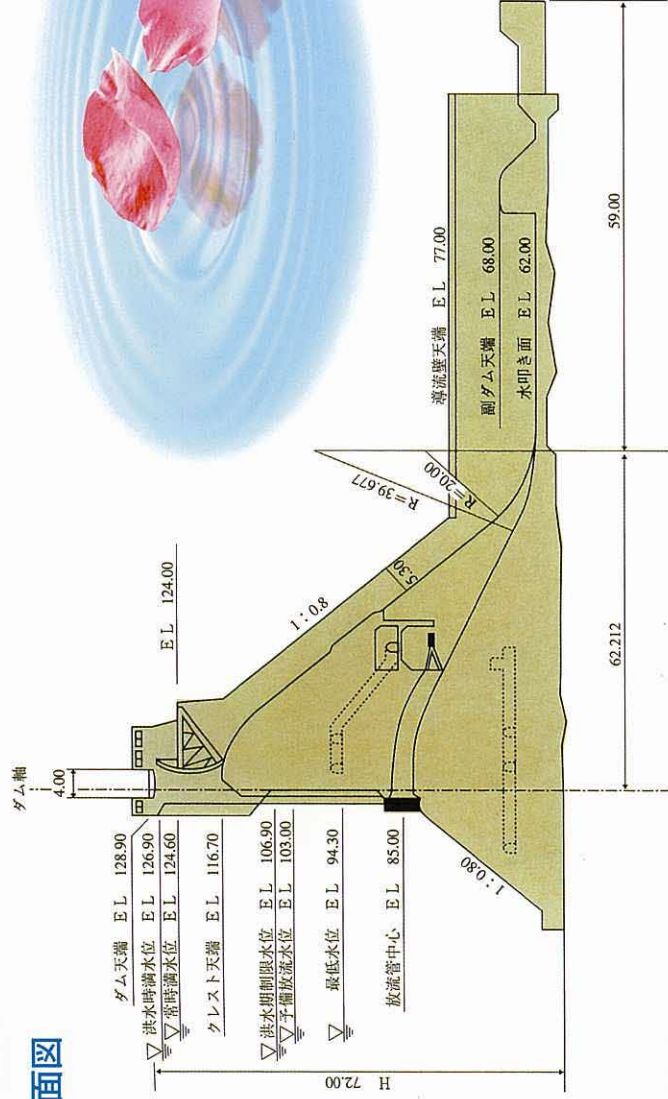


浄水場



◎河川維持流量

◎標準断面図



ハチダムの施設概要

ダム

位置	島根県江津市桜江町ハチダム
型式	重力式コンクリートダム
堤高	72.00m
堤頂長	151.00m
堤体積	195,000m <sup>3</sup>

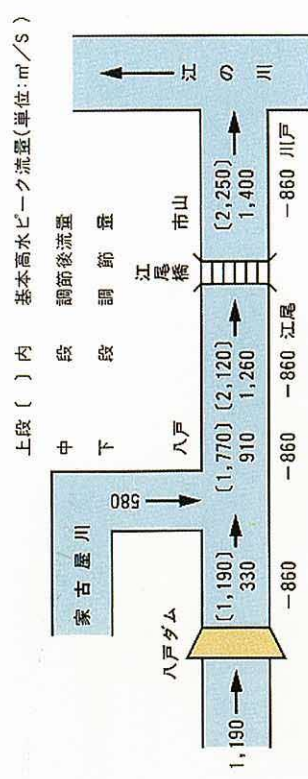
貯水池

流域面積	164.0km <sup>2</sup>
滞水面積	1,282km <sup>2</sup>
総貯水容量	26,800,000m <sup>3</sup>
有効貯水容量	23,200,000m <sup>3</sup>
洪水調節容量	20,000,000m <sup>3</sup>
堆砂容量	3,600,000m <sup>3</sup>
洪水時満水位	EL.126.90m
常時満水位	EL.124.60m
洪水制御水位	EL.106.90m
予備放流水位	EL.103.00m

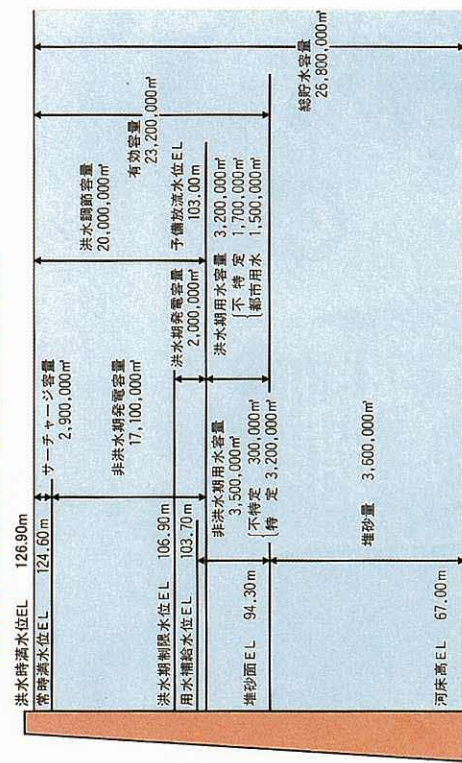
放流設備

常用放流設備	コンジトララジアルゲート W2.82m×H2.82m×2門
非常用放流設備	コースターローラーゲート W4.55m×H4.55m×2門 クレストラジアルゲート W8.00m×H11.105m×3門
利水取水設備	3段式ローラーゲート W3.20m×H7.20m×2門 フラップ式ローラーゲート W1.80m×H2.20m×1門 ハイパスバルブ付ローラーゲート W3.00m×H3.00m×1門 コーンバルブ φ1400×1門 ジェットフロアゲート φ300×1門

◎流量配分図



◎貯水位及び貯水容量配分図



## 八戸ダムの施設



### 八戸ダム管理所

雨量や水位の情報を集め、流入量を予測しダム管理を行います。



### 操作卓(管理所内)

雨量、貯水位などのデータや各種機器の状態を監視したり、ゲートの操作を行います。



### 予備発電機

予備電源室内にあり、停電時でも機器が停止することなくダム管理に必要な電気を送ります。



### 監査廊

ダム点検のためにダム内部に設けられた通路で、管理所からダムの中を通過して対岸まで続いています。



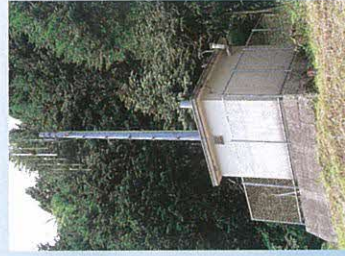
### 監視カメラ(ITV)

ダム管理所からの遠隔操作によりダムの監視をしています。



### 作業船

貯水池内を巡視したり、水質調査を行うための船です。



### 日貫雨量局

ダム上流に設置し、雨量を観測してダム管理所に知らせる施設です。



### 日貫水位局

河川の水位を観測し、ダム管理所に知らせる施設です。



### 入原情報局

ダムからの放流の情報等を下流の人々に知らせる施設です。



### 平野中継局

雨量や水位のデータをダム管理所に送るため電波を中継する施設です。



### 利水取水設備

貯水池から発電や水道等に使用する水を取水する施設です。



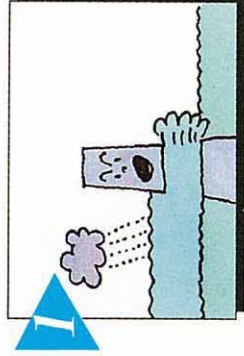
### 流木止め

上流から流れてくる流木等をここで止めて回収します。

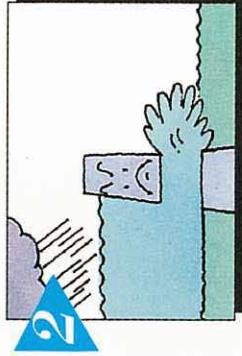
## 洪水調節のしくみは？



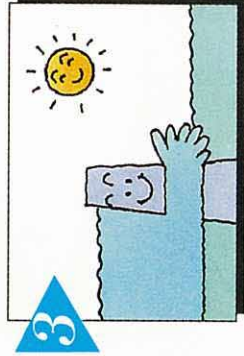
八戸ダム下流



大雨が降って、たくさん水がダムに押し寄せてきました。ダムに流れ込む水の量が毎秒200トン未満の時は、流れ込む水の量を規定量の放流をします。



さらにダムに流れ込む水の量が増え、毎秒200トン以上の時は、ゲート操作をして、流れ込む水の量の一部(最大で860トン)をダムでためるようにします。この場合、流れ込む量に比例した量を放流します。

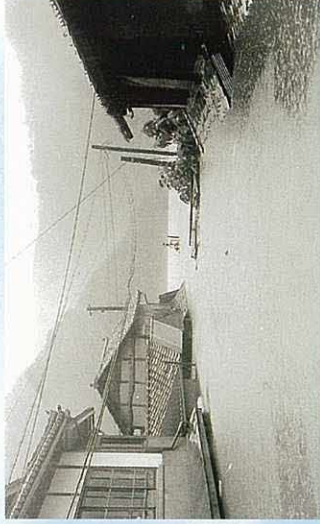


ダムに流れ込む水の量が毎秒720トンを超えた時から、毎秒330トンを超えただけを放流します。流れ込む量がピークを過ぎた後も、少しずつ安全な量だけを放流するので安心です。

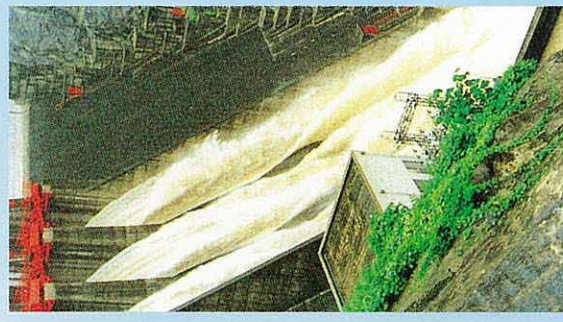
## 八戸川の過去の災害

### 江津市桜江町の被災状況

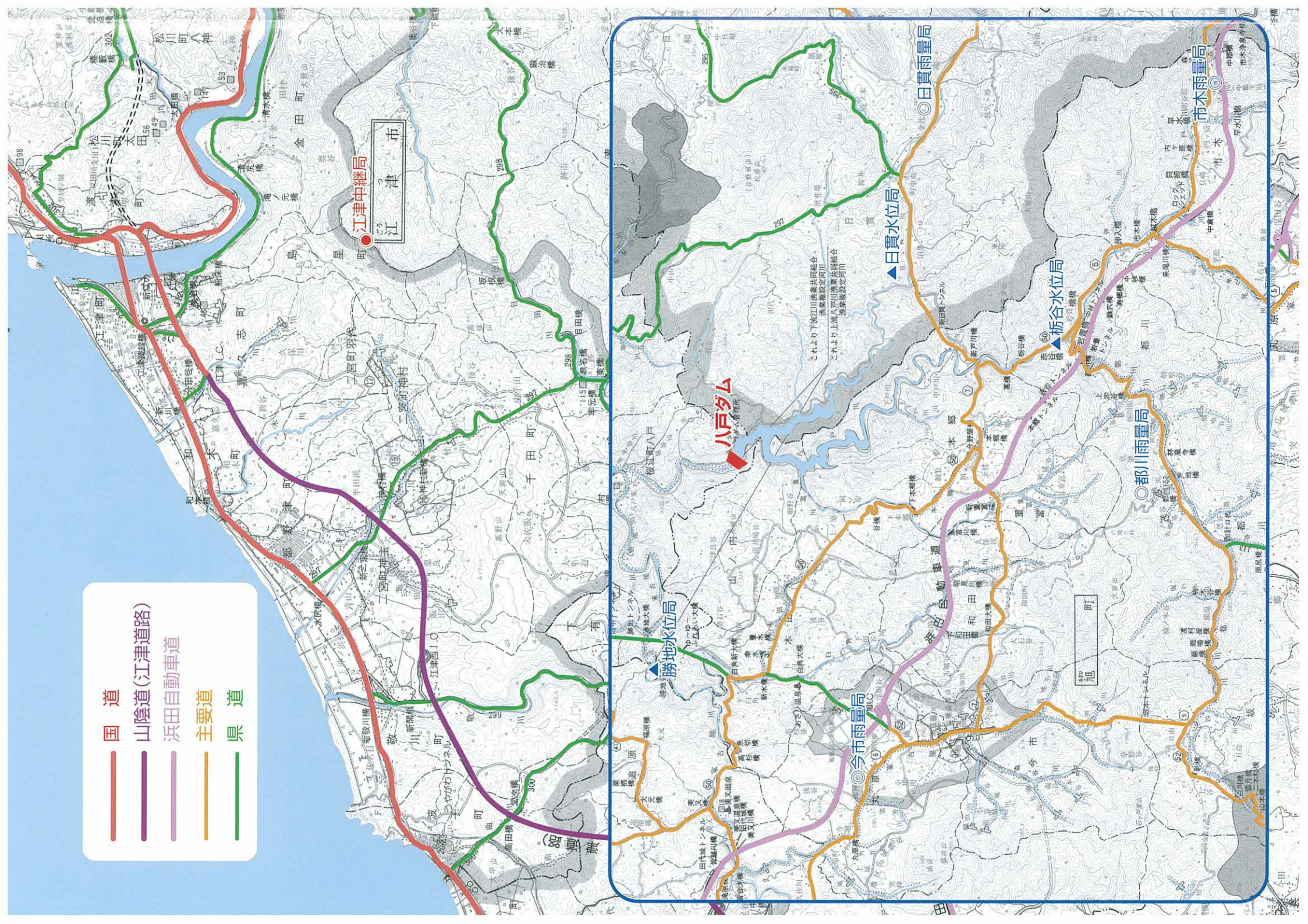
◎昭和47年7月豪雨災害

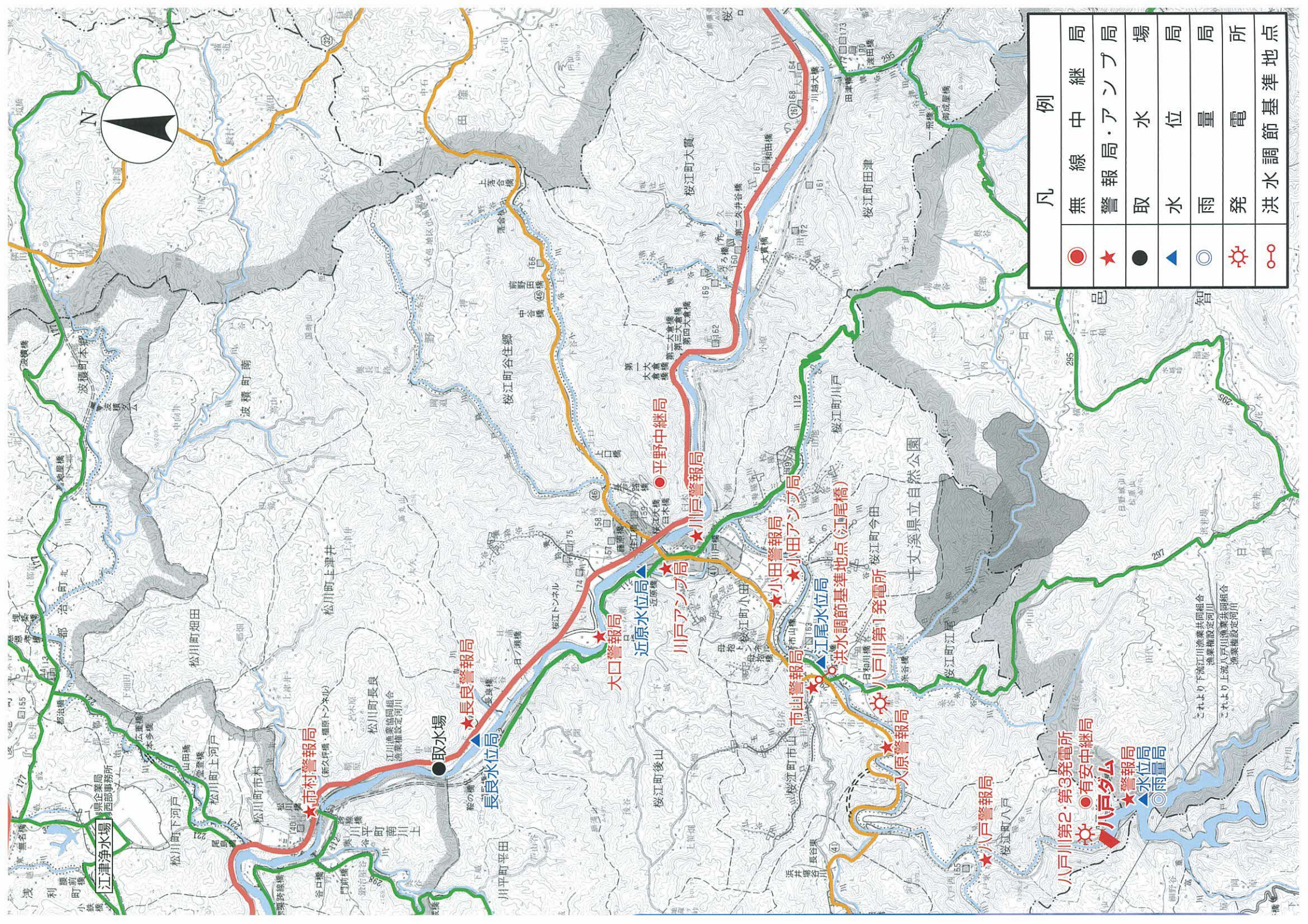


◎昭和58年7月豪雨災害



- 国道
- 山陰道 (江津道路)
- 浜田自動車道
- 主要道
- 県道





凡 例	
●	無線中継局
★	警報局・アンプ局
●	取水場
▲	水位局
○	雨量局
☼	発電所
○-○	洪水調節基準地点

江津浄水場  
原企業局 西部事務所

市村警報局

取水場  
長良水位局

長良警報局

大口警報局

近原水位局

川戸アンプ局

川戸警報局

小田警報局

小田アンプ局

市山警報局

市山アンプ局

江尾水位局

洪水調節基準地点(江尾橋)

八戸川第1発電所

八戸川第1発電所

八原警報局

八原警報局

八戸川第2・第3発電所

有安中継局

八戸ダム

警報局

水位局

雨量局

八戸川

これより下流江川流域共同組合  
流域権設定河川

これより上流八戸川流域共同組合  
流域権設定河川

千丈溪県立自然公園

桜江町田津

桜江町大貫

桜江町谷津郷

波積町南

波積町本郷

松川町上河戸

松川町畑田

松川町長良

松川町上建井

松川町上河戸

松川町市村

松川町下河戸

松川町上河戸

松川町上河戸

松川町上河戸

松川町上河戸

松川町上河戸

松川町上河戸

松川町上河戸

松川町上河戸

松川町上河戸

松川町上河戸

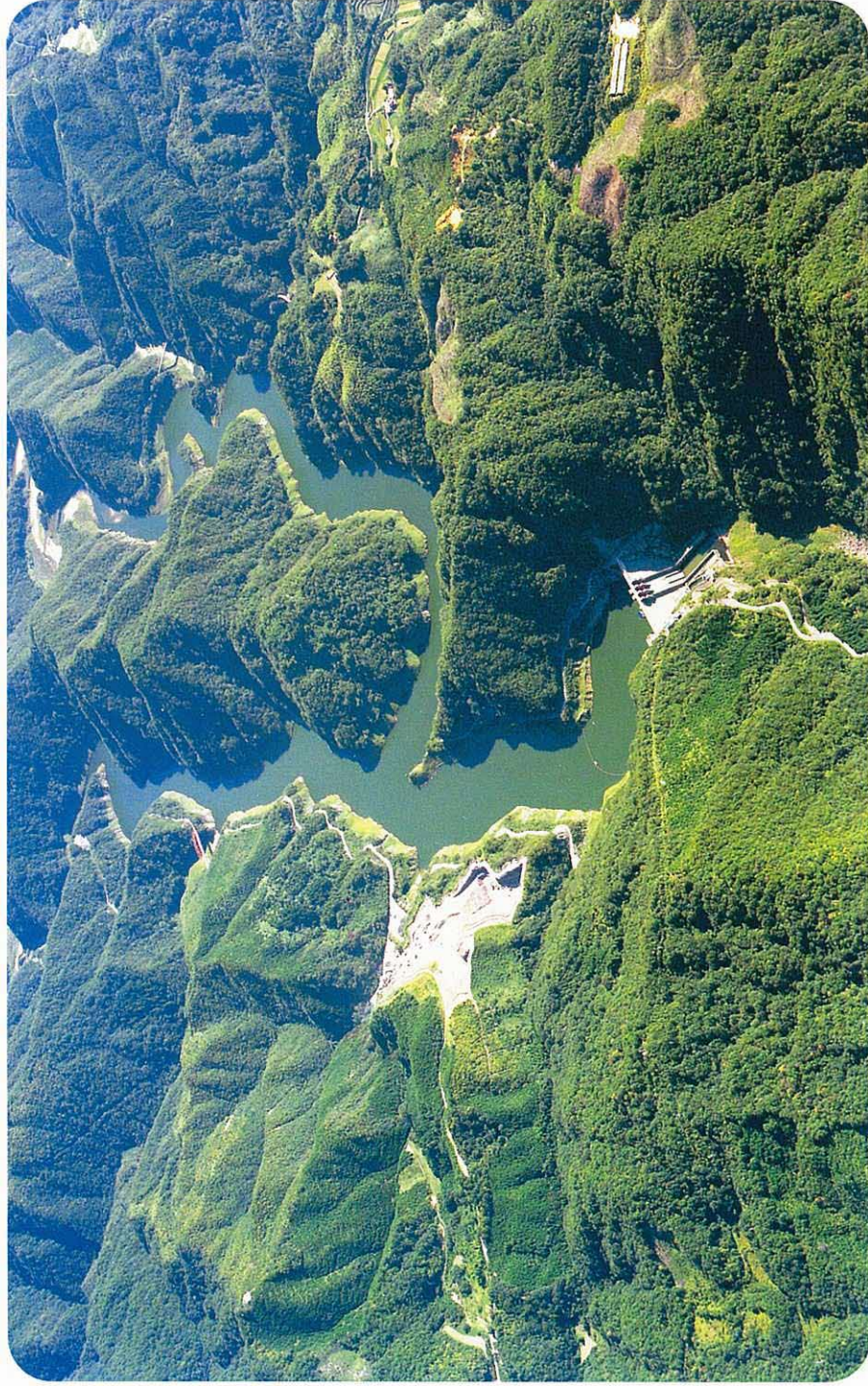
松川町上河戸

松川町上河戸

松川町上河戸

松川町上河戸

松川町上河戸



### 桜井湖 (さくらいこ)

天平時代、八戸川流域である浜田市旭町市木、邑南町日貫、江津市桜江町八戸、長谷、市山、川戸等は桜井郷（佐久良井）と称された。八戸川の清流を堰止めて作られた八戸ダム湖の名称としては、古来いわれの深い桜井の名がふさわしい。

尚、今後予想される島根のリゾート化を念頭におき、八戸ダム周辺を桜の木でいっぱいにするとか、又「井」は、水に関連する文字であり、八戸ダム湖の水を利用した観光開発等を行い、名実ともに桜井の名が後世に残るよう、行政、住民の奮起を促す意味を込めて「桜井湖」と命名した。



### 島根県浜田県土整備事務所

〒697-0041 島根県浜田市片庭町 254  
TEL 0855-29-5654 FAX 0855-29-5691  
ホームページ [http://www.pref.shimane.lg.jp/hamada\\_kendo/](http://www.pref.shimane.lg.jp/hamada_kendo/)

### 八戸ダム管理所

〒699-4432 島根県江津市桜江町八戸 1661-55  
TEL 0855-92-1361  
FAX 0855-92-0907